

外国語活動学習指導案

学校名 三原市立小泉小学校

授業者 T1 外国語専科 道林 幸

T2 ALT Lorna Nyakoa

- 1 日時 平成30年6月22日(金)
- 2 学年 第6学年 23名
- 3 単元名 Unit9 「Who is your hero?」 “We can! 1”

4 単元について

○本単元は、自分があこがれたり尊敬したりする人を題材としており、単元の最後には、学級の友達に向けて、あこがれの人について自分の意見を含めて紹介し合うという活動を設定している。ここでは、新出表現はあまり扱わず、これまで学習した表現に繰り返し触れ、ヒーロー紹介に必要な表現を確認し、既習表現を整理したり、情報の伝え方を学習したりすることができる。本単元では、できることや得意なことを交流したり認め合ったりする活動を通して、子どもたちの自尊感情を育てることができると思う。また、自分と他人との違いを受け入れたり、ヒーロー紹介を通して互いの考え方に触れたりすることもできる単元である。

○本学級の児童は、第5学年時に年間35時間の外国語活動の授業を受けている。今年度は、外国語活動を年間70時間設定し、1週間に2時間程度の授業を実施している。本学級の児童は、「自分から進んで外国語活動の授業に進んで参加しています。」の質問に対して96%の児童が肯定的に答えている。また、「もっと英語を学びたいと思います。」の質問に対して87%の児童が肯定的に答えている。これらの事から、本学級の児童が英語に関心を持ち、進んで授業に臨んでいることが分かる。一方、英語を使って友達とコミュニケーションすることに自信を持っていない児童もいる。「間違えても良い」という雰囲気の中で、児童が安心して「自分の思いを英語で伝えてみたい。」という気持ちが持てるよう、情意面に配慮した指導が必要だと考える。

○指導に当たっては、まず、児童にゴールイメージを持たせるために、単元の始めに教師があこがれの人物を紹介し、モデルを示す。児童に、「自分もやってみたい。」「この人の事をみんなに紹介したい。」という思いを持たせた上で、これまで学習した表現で使えるものはないかを考えさせる。本単元を学習する前に、児童は、”Hi, friends! 2”のLesson3「I can swim.」で、「できる」「できない」という表現に慣れ親しむ活動を行っている。また、”We can! 1”のUnit5「She can run fast. He can jump high.」では、第三者について、できることやできないことを表す表現についても学習している。本単元では、これらの単元での学びと関連させながら、既習のcan~やHe/Sheを繰り返し用いて、第三者についてできることや得意なことを含めて伝え合ったりする活動を行っていく。その上で、本単元では、第三者についての自分の考えや気持ちを表すkind, cool, greatなどの形容詞も取り上げる。これらの言語材料を使って、ペアやグループの中でやりとりさせていく中で、自分のヒーロー紹介で使える表現を獲得させたり定着させたりしていく。本単元では、「得意なこと」を表す表現としてbe good at~が新出しているが、今回はできるだけ既習事項で表現させたいため、今回は扱わない。似たような表現を使いたい児童には、wellを導入する。

児童が安心して、「自分の思いを英語で伝えてみたい。」という気持ちが持てるように、授業の中で、児童が

言い間違えた際には、間違いを指摘するのではなく、正しい表現で言い直して聞かせるようにする。また、自分の言いたい事をどう表現すれば良いのか分からない時には、ALT に尋ねさせたり、既習から使えるような表現をみんなで考えさせたりする。児童の実態に合わせながら、失敗を恐れずに英語でコミュニケーションを行うことができるような雰囲気作りと指導を行って行く。

5 単元の目標

○相手意識を持って、自分のあこがれの人について、自分の考えや意見も含めて紹介し合おうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○自分や第三者の「できること」を表す表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○新出表現・語彙の示す意味に気づいている。

【言語や文化に関する気付き】

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
相手意識を持って、自分のあこがれの人について、自分の考えを含めて紹介したり、友達の発表を聞いたりしている。	・自分や第三者のできることを聞いたり言ったりしている。	新出表現・語彙の示す意味や英語の表記の仕方に気づいている。

7 単元のゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて友達に紹介する。
目指す発話例	This is my hero. She is Amuro Namie. She is a singer. She can sing well. She can dance well ,too. She is fantastic. She is my hero.

8 言語材料(下線は進出表現, 語彙)

主な表現	主な語彙
<u>Who is your hero?</u> This is my hero. <u>[He/She] is a good (tennis player).</u> [He/She] can (cook well). <u>[He/She] is [kind/cool/great/strong/gentle/ active/brave/funny].</u>	hero, flute, family, 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, funny, strong, tough)

9 単元計画(全5時間 本時 2/5)

時	目標と主な活動	評価規準 評価方法	表現例
1	○教師のモデルを見て、尊敬する人について紹介する表現を知り、単元の見通しを持つ。 【Small Talk】 ・指導者の Small Talk を聞く。	【コ】 行動観察・振り返りカード	・ Who is your hero? ・ This is my hero.

	<p>【Let's watch and think】 ・世界の小学生のヒーロー紹介 (my father) を聞く。</p>		
2 本 時	<p>○できることや得意なことを聞いたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【Small Talk】 ・指導者の Small Talk を聞く。</p> <p>【Let's play 1】 ・ペアで質問をして、相手のできることなどについて知る。</p> <p>【Let's play 2】 ・ペアとのやりとりで分かった内容を、別の友だちに He / She を使って伝える</p>	<p>【慣】 行動観察・振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ Can you (sing well)? ・ Yes, I can. ・ No, I can't. ・ (He / She) can (cook well).
3	<p>○第三者について、自分の考えや気持ちを表す言葉について知る。</p> <p>【Let's watch and think】 ・世界の小学生のヒーロー紹介 (my sister) を聞く。</p> <p>【Let's chant】 Who is your hero? ・ヒーロー紹介で使う表現について知り、練習する。</p> <p>・ Who am I quiz できることや人物を表す言葉などを聞いて、その人物が誰かを当てる。</p>	<p>【気】 行動観察・振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ (He / She) can (cook well). ・ (He / She) is (kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny.)
4	<p>○これまでに学習した表現を使って、自分のヒーローについて紹介する文章を考える。</p> <p>【Small Talk】 ・指導者の Small Talk を聞く。</p> <p>【Activity 2】 ・登場人物が自分のヒーローを紹介する音声を聞き、指導者の質問に答えながら、内容を確認する。</p>	<p>【慣】 行動観察・ワークシート・振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ This is my hero. ・ (He / She) can (cook well). ・ (He / She) is (kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny.) ・ (He / She) is my hero.
5	<p>○自分のヒーローについて紹介する。</p> <p>【Let's chant】 Who is your hero? ・ヒーロー紹介で使う表現を確認し、練習する。</p> <p>【Activity 2】 ・自分のヒーローについて紹介する。</p>	<p>【コ】 行動観察・振り返りカード</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ This is my hero. ・ (He / She) can (cook well). ・ (He / She) is (kind / cool / great / strong / gentle / active / brave / funny.) ・ (He / She) is my hero.

10 本時の計画

(1)目標

自分や第三者の「できること」を表す表現に慣れ親しむ。

(2)評価規準

自分や第三者の「できること」について、言ったり聞いたりすることができる。

【外国語への慣れ親しみ】

(3)準備物

電子黒板，絵カード，ワークシート，振り返りシート

(4)展開

児童の学習活動	指導者の役割		・指導上の留意点 ◆評価
	T1	ALT	
1 挨拶をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> T1: Hello. T1: How are you? (全体へ聞いた後，何人かの児童に尋ねる。) ALT: How is the weather today? ALT: What day is it? </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・T1 と ALT のやりとりを見せることで，本時の学習で使う表現について知り，” well” の意味に気づかせる。 ・何人かの児童に指名してやりとりをしていくうちに，児童の理解が深まるようにする。 ・児童が言い間違えた場合，指摘するのではなく，指導者が正しく言い直して聞かせることで気付かせる。
2 Small Talk ○T1 と ALT の Small Talk を聞いて表現をつかむ。	○Small Talk	○Small Talk	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ALT: Dourin sensei, can you sing? T1: Yes, I can. ALT: Can you sing well? T1: No, I can't. But I can play the piano well. ALT: Oh, that's nice. T1: How about you? ALT: I can cook. T1: Oh, I see. Can you cook well? ALT: Yes. I can. T1: Great! Anything else? ALT: I can swim well, too. T1: Wow, that's nice. How about you? Can you swim? Can you swim well? (複数の児童に聞く。) </div>			
3 単元の流れを振り返り，本時の課題を確認する。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 「できること」について聞いたり言ったりしてみよう。 </div>			
4 語句の確認をする。 「動作を表す言葉」	○注意すべき点がある場合は，止めて繰り返しさせる。	○発音して聞かせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の流れを振り返り，本時での学習がヒーロー紹介での表現に使えることを確認する。

<p>5 【Let's Play 1】 ○T1とALTのデモンストレーションを見て、やり方について知る。</p> <p>6 【Let's Play 2】 ○ペアでのやりとりで分かった内容を、別の友だちに He / She を使って伝える。</p> <p>7 本時のふりかえりをする。</p> <p>8 挨拶をする。</p>	<p>○モデルを見せる。</p> <p>○モデルを見せる。</p> <p>A: Can you cook? B: No, I can't. A: I see. Can you play baseball? B: Yes, I can. A: Can you play baseball well? B: Yes, I can. A: That's nice!</p> <p>○モデルを見せる。</p> <p>○モデルを見せる。</p> <p>A: This is ○○.(表を指しながら) B: (He / She) can't ~. (He / She) can ~. (He / She) can ~ well. A: Oh, I see.</p>	<p>○モデルを見せる。</p> <p>○モデルを見せる。</p> <p>・言い方が分からない児童に対して、モデルを示したり、一緒に言ったりすることで支援する。 ・友達の発言に反応したり、積極的にコミュニケーションをしているペアを取りあげて評価する。 ・ワークシートを配付し、「できない」には△、「できる」には○、「得意なこと」には◎を記入させる。 ・既習事項を振り返らせ、分かったことを他者に伝える際には He / She を使って表すことを確認する。 ◆自分や第三者の「できること」や「得意なこと」について、聞いたり言ったりすることができる。 【慣】</p>
---	--	---

(5) 板書計画

<p>天気</p>	<p>Friday</p>	<p>June</p>	<p>22nd</p>	<p>「できること」「得意なこと」について聞いたり言ったりしてみよう。</p>
<p>絵カード</p>				<p>反応 WORDS</p>
				<p>Can you ~ (well)?</p>
				<p>Yes, I can.</p>
				<p>No, I can't.</p>